

昭和48年度畑作関係 除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

当協会委託の昭和48年度畑作関係除草剤の試験成績中央検討会は、昭和48年12月13日、14日の2日間、東京（農林年金会館）において、開催されたので、その結果をここに紹介する。

昭和48年度に供試された畑作除草剤の年次別推移は、第1表のとおりである。また、供試

薬剤の成分一覧は、第2表、第3表に示すとおりである。これらの薬剤の試験結果の判定は、第4表に示すとおりであるが、実用化に移されたものは、10作物19薬剤で、実用化とともに、一部継続に移されたものは、6作物12薬剤である。実用化及び、実・継薬剤の使用基準を示すと、第5表のとおりである。

＜第1表＞ 畑作用除草剤試験の推移

	供 試 薬 剤 数							
	昭和41年度	昭和42年度	昭和43年度	昭和44年度	昭和45年度	昭和46年度	昭和47年度	昭和48年度
A 除 草 剤								
畑作物一般	12	6	9	7	11	5	10	9
陸 稲	14	10	11	9	9	6	3	3
麦 類	4	2	4	4	2	—	3	1
とうもろこし	4	3	4	6	8	13	4	2
甘 藷	9	3	5	4	5	3	3	5
馬 鈴 薯	1	0	3	4	8	11	13	4
さとうきび	1	1	0	0	1	2	1	3
大 豆	10	3	4	14	8	12	10	15
小 豆	4	3	1	7	5	6	4	6
菜 豆	1	3	5	6	8	9	5	8
落 花 生	5	7	4	12	9	12	5	7
てんさい	4	9	5	6	6	6	5	6
そ の 他	2	3	1	3	1	7	3	3
B マルチ除草剤								
稲	—	—	12	4	5	—	—	—
早 掘 甘 藷	—	—	—	1	2	2	—	—
とうもろこし	—	—	1	2	2	—	—	—
落 花 生	—	—	—	1	2	3	2	0
そ の 他	—	—	1	2	6	2	—	—
C 転換畑用除草剤	—	—	—	—	—	6	—	—
合 計	71	53	63	92	98	104	71	71

＜第2表＞ 昭和48年度畑作関係作用性試験供試除草剤成分一覧表

I 新除草剤定性スクリーニング試験

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分及び成分含有率	委託会社
1) 畑作一般	1. NP-23	水和剤	未公開 50%	日本曹達 株式会社
	2. NP-24	水和剤	未公開 40%	同上
	3. MC-79	乳剤	2-ニトロ-5-(2',4'-ジクロロフェノキシ)ベンゾイック-アミッドメチルエステル 20%	モーダウン研究会 〔モービル石油 株式会社〕 八洲化学 株式会社 北興化学 株式会社
	4. プロメトリン・アラクロール	乳剤	プロメトリン：2-メチルチオ4,6-ビス(イソプロピルアミノ)S-トリアジン 15% アラクロール：2-クロール-2',6'-ジエチル(メトキシメチル)アセトアニリド 20% (15+20%)	日産化学 株式会社 日本農薬 株式会社
	5. ANK-553	乳剤	N-(1-エチルプロピル)-2,6-ジニトロ-3,4-キシリジン 30%	ANK研究会 〔日本農薬 株式会社〕 クミアイ化学 株式会社
	6. MT-109	乳剤	ジフェニルエーテル系 20%	三井東圧化学 株式会社
	7. RE-75	水和剤	未公開 50%	株式会社 トーメン

II 作用特性試験

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分及び成分含有率	委託会社
1) とうもろこし	RE-75	水和剤	未公開 50%	株式会社 トーメン
	アトラジン500 FW	乳剤	2-クロール-4-エチルアミノ-6-イソプロピルアミノ-S-トリアジン 50%	日本チバガイギー 株式会社
	プロメトリン・アラクロール	乳剤	2-メチルチオ-4,6-ビスイソプロピルアミノS-トリアジン(プロメトリン) 15% 2-クロール-2',6'-ジエチル(メトキシメチル)アセトアニリド 21.5%	日本モンサント 株式会社 日産化学 株式会社
	SKH-01	水和剤	2-(4-クロール-6-エチルアミノ-S-トリアジン-2-イルアミノ)-2-メチル-プロピオニトリル 50%	シエル化学 株式会社

対 象 作 物	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
2) 陸 稲	プロメトリン・アラ クロール	乳	2-メチルチオ-4,6-ビスイソプロピルアミ ノS-トリアジン(プロメトリン) 15% 2-クロール-2',6'-ジエチル(メトキシメチル) アセトアニリド 21.5%	日本モンサント 日 産 化 学
3) 馬 鈴 薯	プロメトリン・アラ クロール	乳	2-メチルチオ-4,6-ビスイソプロピルアミ ノS-トリアジン(プロメトリン) 15% 2-クロール-2',6'-ジエチル(メトキシメチル) アセトアニリド 21.5%	同 上
4) て ん さ い	IPC・アラクロール	乳	イソプロピルN-(3-クロロフェニル)-カー バメイト(CIPC) 21.5% 2-クロール-2',6'-ジエチル(メトキシメチル) アセトアニリド 21.5%	同 上
	SL-38	乳	未 公 開 20%	石 原 産 業
5) 落 花 生	SW-730	水 和	未 公 開 50%	三 共
	SL-67	水 和	未 公 開 40%	石 原 産 業
	SL-98	水 和	未 公 開 40%	同 上
	NP-23	水 和	未 公 開 50%	日 本 曹 達
	NP-24	水 和	未 公 開 40%	同 上
	NP-25	水 和	未 公 開 40%	同 上
	ANK-553	乳	N-(1-エチルプロピル)2,6-ジニトロ- 3,4-キシリダイン 30%	ANK研究会 〔クミアイ化学〕 〔日本農薬〕
6) 大 豆	RE-75	水 和	未 公 開 50%	ト ー メ ン
	SW-730	乳	2-クロール-4-エチルアミノ-6-イソプロ ピルアミノ-S-トリアジン 50%	日本チバガイギー
	SL-67	水 和	未 公 開 40%	石 原 産 業
	SL-98	水 和	未 公 開 40%	同 上

対 象 作 物	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
6) 大 豆 (つづき)	NP-23	水 和	未 公 開 50%	日 本 曹 達
	NP-24	水 和	未 公 開 40%	同 上
	NP-25	水 和	未 公 開 40%	同 上
	プロメトリン・アラ クロール	乳	2-メチルチオ-4,6-ビスイソプロピルアミ ノS-トリアジン(プロメトリン) 15% 2-クロール-2',6'-ジエチル(メトキシメチル) アセトアニリド 21.5%	日 本 農 薬 日 産 化 学
	ANK-553	乳	N-(1-エチルプロピル)-2,6-ジニトロ -3,4-キシリダイン 30%	A N K 研 究 会 〔クミアイ化学〕 日 本 農 薬
	NK-049	水 和	3,6'-ジメチル-4-メトキシベンゾフェノン 50%	日 本 化 薬
	NC-U(リニユロ ンとの混用)	水 和	ジシアンジアミド 90%	日本カーバイド
7) 小 豆	SL-67	水 和	未 公 開 40%	石 原 産 業
	SL-98	水 和	未 公 開 40%	同 上
	NP-23	水 和	未 公 開 50%	日 本 曹 達
	プロメトリン・アラ クロール	乳	2-メチルチオ-4,6-ビスイソプロピルアミ ノS-トリアジン(プロメトリン) 15% 2-クロール-2',6'-ジエチル(メトキシメチル) アセトアニリド 21.5%	日 本 農 薬 日 産 化 学
8) 菜 豆	SW-730	水 和	2-クロール-4-エチルアミノ-6-イソプロ ピルアミノ-S-トリアジン 50%	日本チバガイギー
	SL-67	水 和	未 公 開 40%	石 原 産 業
	SL-98	水 和	未 公 開 40%	同 上
	SL-54	乳	未 公 開	同 上
	SL-29	乳	未 公 開	同 上

対 象 作 物	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
8) 菜 豆 (つづき)	Mon-39	乳	N-(フオスフォノメチル)グリシン・イソプロピルアミン塩 41.5%	日本モンサント
	NP-23	水和	未 公 開 50%	日 本 曹 達
	プロメトリン・アラクロール	乳	2-メチルチオ-4,6-ビス(イソプロピルアミノ)S-トリアジン 15% 2-クロル-2',6'-ジエチル(メトキシメチル)アセトアニリド 20%	日 産 化 学 日 本 農 薬
	ANK-553	乳	N-(1-エチルプロピル)2,6-ジニトロ-3,4-キシリダイン 30%	A N K 研 究 会 〔クミアイ化学〕 〔日 本 農 薬〕
	IPC・アラクロール	乳	イソプロピルN-(3-クロロフェニル)カーバメート(CIPC) 21.5% 2-クロル-2',6'-ジエチル(メトキシメチル)アセトアニリド 21.5%	日本モンサント 日 産 化 学

＜第3表＞ 昭和48年度畑作関係適用性試験供試除草剤成分一覧表

対 象 作 物	薬 剤 名	剤 型	有効成分名および含有率	委 託 会 社
1) 陸 稲	1. NK-266	水和	2-クロル-4-メチルスルフィニル4'-ニトロジフェニルエーテル 50%	日 本 化 薬
	2. SKH-01	水和	2-(4-クロル-6-エチルアミノ-S-トリアジン-2-イルアミノ)-2-メチルプロピオニトリル 50%	シ エ ル 化 学
	3. G-315	水和	5-ターシャリブチル-3-(2,4-ジクロル-5-イソプロピルオキシフェニル)-1,3,4-オキサジアゾリン-2-オン 50%	ロンスター普及会 〔日 産 化 学〕 〔北 興 化 学〕
2) トウモロコシ	1. CIPC・アラクロール	乳	イソプロピルN-(3-クロロフェニル)カーバメート(CIPC) 21.5% 2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(メトキシメチル)-アセトアニリド(アラクロール) 21.5%	日本モンサント 日 産 化 学
3) 甘 藷	1. アラクロール	粒	2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(メトキシメチル)-アセトアニリド 2%	日本モンサント

対 象 作 物	薬 剤 名	剤 型	有効成分名および含有率	委 託 会 社
3) 甘 藷 (つづき)	2. NK-P	粒	2-メチルチオ-4,6-ビス・イソプロピルア ミノ-S-トリアジン 1.5%	日 本 化 薬
	3. R-7465	水 和	2-(α -ナフトキシ)-N,N-ジエチルプロ ピオンアמיד 5.0%	R-7465研究会 (ト-メ-ン)
	4. SKH-01	水 和	2-(4-クロル-6-エチルアミノ-S-トリ アジン-2-イルアミノ)-2-メチル- ロピオニトリル 5.0%	シエル化学
	5. NP-24	水 和	未 公 開 4.0%	日 本 曹 達
4) 馬 鈴 薯	1. CIPC・アラ クロール	乳	トウモロコシ(1)参照	日本モンサント 日 産 化 学
	2. SKH-01	水 和	3) 甘藷の4参照 5.0%	シエル化学
	3. 塩素酸ソーダ	水 溶	NaClO ₃ 98.5%	昭 和 電 工
	4. NTN-70	水 和	4-アミノ-6-ターシヤリブチル-3-(メ チルチオ)-1,3,4-トリアジン-5-オン 7.0%	日本特殊農薬製造
5) て ん さ い	1. CIPC・アラ クロール	乳	2) トウモロコシの1参照(直播栽培, 移植栽 培)	日本モンサント 日 産 化 学
	2. SL-38	乳	未 公 開 (直播栽培, 移植栽培) 2.0%	石 原 産 業
6) 落 花 生	1. NK-266	水 和	2-クロル-4-メチルスルフィニル-4'-ニ トロジフェニルエーテル 5.0%	日 本 化 薬
	2. プロメトリン (=NK-P)	粒	2-メチルチオ-4,6-ビス・イソプロピルア ミノ-S-トリアジン 1.5%	同 上
	3. A-820	乳	N-セコンダリーブチル-4-ターシヤリーブチ ル-2,6-ジニトロアニリン 4.8%	2,4-D協議会 [日 産 化 学] [石 原 産 業]
	4. B-3015・ プロメトリン	乳	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルチ オールカーバメイト(B-3015) 5.0% 2-メチルチオ-4,6-ビス・イソプロピルア ミノ-S-トリアジン(プロメトリン) 5%	クミアイ化学

対 象 作 物	薬 剤 名	剤 型	有効成分名および含有率	委 託 会 社
6) 落 花 生 (つづき)	5. プロメトリン・ アラクロール	乳	2-メチルチオ-4,6-ビス(イソプロピルア ミノ)S-トリアジン(プロメトリン) 20% 2-クロル-2,6-ジエチル(メトキシメチル) アセト・アニリド(アラクロール) 15%	日 産 化 学 日 本 農 薬
	6 NTN-80	乳	N-イソプロピルホスホロアミドチオンサン- 0-メチル-0-2-ニトロパラトリル 30%	日 本 特 殊 農 薬
7) 大 豆	1 B-51	乳	未 公 開 50%	クミアイ化学
	2 NP-23	水 和	未 公 開 50%	日 本 曹 達
	3 NP-24	水 和	未 公 開 40%	同 上
	4 NP-25	水 和	未 公 開 40%	同 上
	5. トリフルラリン	乳	α, α, α -トリフルオール-2,6-ジニトロ-N, N-ジプロピル-パラ-トルイジン 44.5%	塩 野 義 製 薬
	6 CIPC・アラ クロール	乳	(2)トウモロコシ参照 (21.5+21.5%)	日 本 モ ン サ ン ト 日 産 化 学
	7 NK-266・ A	水 和	2-クロル-4-メチルスルフィニル-4'-ニ トロジフェニルエーテル(NK-266) 50% 2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(メトキシ メチル)アセトアニリド(アラクロール) 15%	日 本 化 薬
	8 NK-266・ P	水 和	2-クロル-4-メチルスルフィニル-4'-ニ トロジフェニルエーテル(NK-266) 50% 2-メチルチオ-4,6-ビス(イソプロピルア ミノ)S-トリアジン(プロメトリン) 10%	同 上
	9 NK-266	乳	7, 8, 参照 20%	同 上
	10 NC-U(リニ ユロンとの混用)	水 和	ジシアジアミド 90%	日 本 カ ー バ イ ト
	11 NK-049・ P	水 和	3,8'-ジメチル-4-メトキシベンゾフェノン (NK-049) 70% プロメトリン 10%	日 本 化 薬

対 象 作 物	薬 剤 名	剤 型	有効成分名および含有率	委 託 会 社
7) 大 豆 (つづき)	12. パーナレート・ → スエツブ	粒	S-プロピル(パーナレート)-NN-ジプロ ピルチオカーバメイト 5 % メチル-N-(3,4-ジクロルフェニル)カー バメイト(スエツブ) 15 %	ト ー メ ン 日 産 化 学
	13. HW-24	乳	2,3,5,6-テトラフルオル-4-クロル-4'- ニトロジフェニルエーテル 25 %	保 土 谷 化 学
	14. SKH-01	水 和	2-(4-クロル-6-エチルアミノ-S-ト リアジーン-2-メチルプロピオニトリル 50 %	シ エ ル 化 学
8) 小 豆	1. ANK-553	乳	N-(1-エチルプロピル)-2,6-ジニトロ -3,4-キシリダイン 80 %	A N K 研 究 会 〔クミアイ化学〕 日 本 農 薬
	2. CIPC・アラ クロール	乳	2) トウモロコシ1参照 (215+215%)	日 本 モ ン サ ン ト 日 産 化 学
	3. トリフルラリン	乳	α, α, α -トリフルオル-2,6-ジニトロ-N,N- ジプロピル-パラートルイジン 44.5 %	塩 野 義 製 薬
	4. DNBPA	乳	2,4-ジニトロ-6-セコンダリーブチルフェ ノールアセテート 60 %	北 海 三 共
	5. HSW- 7001	乳	DNBPA+CIPC 40%+20%	同 上
9) 菜 豆	1. ANK-553	乳	7) 大豆, 11参照 30 %	A N K 研 究 会 〔クミアイ化学〕 日 本 農 薬
	2. B-51	乳	未 公 開 50 %	ク ミ ア イ 化 学
	3. CIPC・アラ クロール	乳	2) トウモロコシ, 1参照 (215+215%)	日 本 モ ン サ ン ト 日 産 化 学
	4. HSW- 7201	水 和	CIPC+DCMU 25%+5 %	北 海 三 共
	5. DNBPA	乳	DNBPA 60 %	同 上

対 象 作 物	薬 剤 名	剤 型	有効成分名および含有率	委 託 会 社
9) 菜 豆 (つづき)	6 HSW— 7 0 0 1	乳	DNBPA 4 0 % CIPC 2 0 %	北 海 三 共
	7 トリフルラリン	乳	α, α, α -トリフルオロ-2, 6-ジニトロ-N,N-ジプロピル-パラートリジン 4 4. 5 %	塩 野 義 製 薬
10) バイナップル	1 アメトリン	水 和	2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-イソプロピルアミノ-S-トリアジン 4 7. 5 %	日 本 チ バ ガ イ ギ ー
	2 アトラジン	水 和	2-クロロ-4-エチルアミノ-6-イソプロピルアミノ-S-トリアジン 4 7. 5 %	同 上
11) さとうきび	1 アメトリン	水 和	10) の 1 参照	同 上
	2 アトラジン	水 和	10) の 2 参照	同 上
	3 SSH-36	液	アシユラム, アイオキシニル 2 3 %	塩 野 義 製 薬
12) 麦 類	1 NP-17	水 和	未 公 開 7 0 %	日 本 曹 達
	2 トリブニール	水 和	1, 3-ジメチル-3 (2-ベンゾチアゾール) ウレア 7 0 %	日 本 特 殊 農 薬
13) こんにゃく	1 NC-U (リニユロンとの混用)	水 和	ジシアン・ジアミド 9 0 %	日 本 カ ー バ イ ド
	2 リニユロン	粒	リニユロン 1. 5 %	丸 和 バ イ オ ケ ミ カ ル

＜第4表＞ 昭和48年度畑作関係除草剤実用化判定表

区 分	実 用 化	実 ・ 継	継 続	継 ?	中 止
1) 陸 稲	G-315 水和		NK-266 水和		SKH-01 水和
2) とうもろこし		クロロIPC・乳 アラクロール			
3) 甘 藷	R-7465 水和	プロメトリン粒(=N K-P)	NP-24 水和		
		アラクロール 粒	SKH-01 水和		
4) 馬 鈴 薯	クロロIPC・アラク ロール 乳 SKH-01 水和				

区 分	実 用 化	実 ・ 継	継 続	継 ？	中 止
4) 馬 鈴 薯 (つづき)	NTN-70 水和 クロレートソーダ水溶				
5) てん さい	クロロIPC・アラク ロール乳(直播) クロロIPC・アラク ロール乳(移植)		SL-38乳(直播) SL-38乳(移植)		
6) 落 花 生	B-3015・プロメ トリン 乳	プロメトリン・アラク ロール 乳 プロメトリン粒(=N K-P) NTN-80 乳	NK-266 水和 (マルチ) A-820 乳		
7) 大 豆	クロロIPC・アラク ロール 乳 NK-266 乳 HW-24 乳	NK-266・A水和 NK-266・P水和 バーナレート粒→スエ ツブ粒 バーナレート 粒	NP-23 水和 NP-24 水和 NP-25 水和 トリフルラリン乳 (表面) NK-049・P水和 B-51 乳 SKH-01 水和	NC-U 水和 (リニユロンとの 混用)	トリフルラリン乳 (混和)
8) 小 豆	クロロIPC・アラク ロール 乳 DNBPA 乳 HSW-7001 乳		トリフルラリン乳 (表面) ANK-553 乳		トリフルラリン乳 (混和)
9) 菜 豆	クロロIPC・アラク ロール 乳 DNBPA 乳 HSW-7001 乳		トリフルラリン乳 (表面) ANK-553 乳 B-51 乳 HSW-7201水和		トリフルラリン乳 (混和)
10) さとうきび	SSH-36 液	アメトリン 水和			
11) 小 麦			NP-17 水和 トリブニール 水和		
12) こんにやく		リニユロン 粒		NC-U 水和 (リニユロンとの 混用)	

＜第5表＞ 昭和48年度畑作関係実用化除草剤使用基準

	薬 剤 名	剤型	判 定	処理方法	処理時期	使 用 量	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
1 陸 稲	G-315	水和	実	土壌処理	播 種 後	5～7g/a	火山灰土 壤	寒地を除く全 域	
2 水 稲	クロロIPC・ アラクロール	乳	実・継	土壌処理	播 種 後	(製品) 20～25g/a	全 土 壤	寒 地	初年目につき再確 認が必要
3 甘 藷	R-7465	水和	実	土壌処理	植 付 後	30～40g/a	全 土 壤	温暖地、暖地	広葉雑草多発地は さける
	プロメトリン (=NK-P)	粒	実・継	土壌処理	植 付 後	(製品) 500～600g/a	火山灰土	暖 地	植付後、培土後で の検討
	アラクロール	粒	実・継	土壌処理	植 付 後	10～15g/a	火山灰土	暖 地	再確認が必要 火山灰以外の検討 地域拡大
4 馬 鈴 薯	クロロIPC・ アラクロール	乳	実	土壌処理	植 付 後 10～15日	(製品) 20～30g/a	全 土 壤	寒 地	
	SKH-01	水和	実	土壌処理	植 付 後 ～15日	10～15g/a	全 土 壤	寒地、寒冷地	萌芽直前はさける
	NTN-70	水和	実	土壌・ 茎葉処理	萌芽直前 まで	5～7g/a	全 土 壤	寒地、寒冷地	
	クロレートソーダ	水溶	実	茎葉処理	収 穫 前 10～14日	(製品) 300～500g/a	全 土 壤	寒 地	後作に麦類を入れ る場合は(製品) 300～350g/aとし 散布後20日以上 経過してから播種 する
5 て ん さい	クロロIPC・ アラクロール	乳	実	土壌処理	播種直後	(製品) 20～25g/a	全 土 壤	寒 地	直 播
	クロロIPC・ アラクロール	乳	実	茎葉処理	移植直後 ～15日	(製品) 20～25g/a	全 土 壤	寒 地	移 植
6 落 花 生	B-3015・ プロメトリン	乳	実	土壌処理	播 種 後	(製品) 60～80g/a	全 土 壤	温暖地、暖地	
	プロメトリン・ アラクロール	乳	実・継	土壌処理	播 種 後 ～出芽前	(製品) 20～30g/a	全 土 壤 (砂壤土 砂土を 除く)	温 暖 地	

	薬 剤 名	剤型	判 定	処理方法	処理時期	使 用 量	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
6 落 花 生 (ω)	プロメトリン (=NK-P)	粒	実・継	土壌処理	播 種 後	(製品) 500~600g/a	全 土 壤	温 暖 地	中耕後、培土後での検討
	NTN-80	乳	実・継	土壌処理	播 種 後	20~30g/a	全 土 壤	温暖地、暖地	- 作用性の検討 - 有機リン剤との近接散布との薬害究明 再確認必要
7 大 豆	クロロIPC・ アラクロール	乳	実	土壌処理	播種直後 ~播種後	(製品) 20~25g/a	全 土 壤	寒 地	
	NK-266	乳	実	土壌処理	播 種 後	40~60g/a	全 土 壤	温暖地以北	
	HW-24	乳	実	土壌処理	播 種 後	15~20g/a	全 土 壤	寒地、寒冷地	ハコベ多発地帯を除く
	NK- 266・A	水和	実・継	土壌処理	播 種 後	(製品) 50~60g/a	全 土 壤	寒 地	寒冷地、温暖地で安全性の検討
	NK- 266・P	水和	実・継	土壌処理	播 種 後	(製品) 50~60g/a	全 土 壤	温暖地中部、 高冷地以北	温暖地での再確認が必要
	バーナレート粒 →スエップ粒	粒	実・継	混和処理 土壌処理	播 種 前 播 種 後 15~250	20 g/a 60 g/a	火山灰土	寒 冷 地	
	バーナレート	粒	実・継	混和処理	播 種 前	20 g/a	火山灰土	寒 冷 地	バーナレート減量 検討 (a i-10~15g/a)
8 小 豆	クロロIPC・ アラクロール	乳	実	土壌処理	播種直後 ~播種後	(製品) 15~25g/a	砂質系土 壌を除く	寒 地	
	DNBPA	乳	実	土壌処理	出 芽 前	12~18g/a	全 土 壤	寒 地	
	HSW- 7001	乳	実	土壌処理	出 芽 前	(製品) 30~40g/a	全 土 壤	寒 地	
9 菜 豆	クロロIPC・ アラクロール	乳	実	土壌処理	播種直後 ~播種後	(製品) 20~25g/a	全 土 壤	寒 地	
	DNBPA	乳	実	土壌処理	出 芽 前	12~18g/a	全 土 壤	寒 地	
	HSW- 7001	乳	実	土壌処理	出 芽 前	(製品) 30~40g/a	全 土 壤	寒 地	

	薬 剤 名	剤型	判 定	処理方法	処理時期	使 用 量	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
10 さ と う き び	SSH-36	液	実	土壌処理	植付後	(製品) 160~180g/a	全土壌	暖地	沖縄本島株出しでの検討を望む
				茎葉処理	メヒンバ 4ℓまで	(製品) 140~160g/a	全土壌	暖地	
	アメリリン	水和	実・継	土壌処理	植付後	(製品) 20~30g/a	全土壌	暖地	・再確認必要 ・株出しの茎葉処理での検討
11 こ ん に ゃ く	リニユロン	粒	実・継	土壌処理	植付後 培土後	(製品) 400~600g/a	全土壌	寒冷地	ツクサの多発地を除く、培土の際は草を完全に埋没する。 地域拡大(温暖地での検討)

植調協会だより

◎ 農薬・土壌残留分析委員会開催日程

開 催 日	会 議 の 名 称	場 所
昭和49年 4月18~19日	昭和49年度第1回農薬 残留分析委員会	日本都市セン ター本館第7 会議室 TEL 265-8211
5月22~23日	昭和49年度第1回土壌 残留分析委員会	同 上
6月20~21日	昭和49年度第2回農薬 残留分析委員会	同 上

編 集 後 記

雨水の季節となると、暖かい日々が続くようになる。

冬の間、じっと寒さに耐えてきたすべての植物が、そろそろ活動の準備をはじめる。この時期に、移行型の土壌処理用除草剤を散布しておく、と、土壌中で芽生えようとする雑草の息を完全にとめることができる。

「精忠は草をみずして草をとる」の諺のように、除草剤の散布は早めにまくとよい。

開 催 日	会 議 の 名 称	場 所
7月23~24日	昭和49年度第2回土壌 残留分析委員会	日本都市セン ター本館第7 会議室 TEL 265-8211
8月7~8日	昭和49年度第3回農薬 残留分析委員会	同 上
9月18~19日	昭和49年度第3回土壌 残留分析委員会	同 上
10月23~24日	昭和49年度第4回農薬 残留分析委員会	同 上

注：当該委員会で審査を希望される場合は、あらかじめ当該期日の10日前までに、事務局あて報告書を提出して下さい。

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都港区芝西久保桜川町26番地
電話 東京(03)502-4188(代)

昭和49年2月発行

第7巻第11号

¥90(送料50)

編集人 日本植物調節剤研究協会常務理事 吉沢 長 人
発行人 植調編集印刷事務所 広田 伸 七

東京都港区芝愛宕町1-3 全国農村教育協会内
発行所 植調編集印刷事務所

電話 東京(03)436-3388番